

愛

さん

令和6年 3月号

編集：伊良部、仲真



みーぐるちゃん

認知症パネル展 in 泡瀬支店

2月13日～2月29日に沖縄銀行泡瀬支店で認知症パネル展を開催しました。普通の物忘れと認知症の違いや認知症になるとでてくる症状、また相談窓口や成年後見制度の紹介といった内容などを分かりやすくパネルにして掲示しました。ご自由にお持ちいただけるよう準備した資料はほとんどなくなり、また銀行員の方からも「パネルをご覧になるお客さまが多く好評でしたよ」とのお話があり、認知症への関心の高さを感じました。

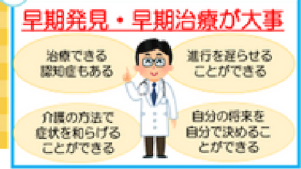
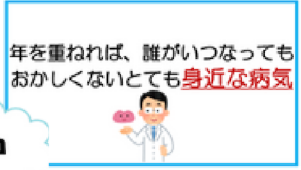
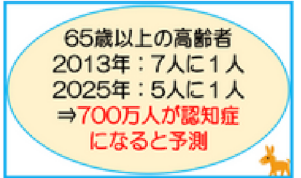
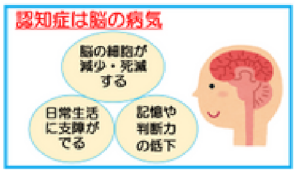
沖縄市では「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指しており、認知症について正しい知識・理解を深めるために公民館や企業、学校など様々な場所でパネル展や勉強会など開催しています。「ぜひここでも開催してほしい!」という方は包括東部北までご連絡ください♪



認知症パネル展 in 沖銀泡瀬店

第2弾 計画中

- ・認知症の人の気持ち
- ・相談窓口について
- ・認知症予防について
- ・市の事業について



令和5年度 沖繩市ふれあいのまちづくり事業 小地域ネットワーク事業 実践報告会

2月16日(金)14時～16時、沖縄市福祉文化プラザ2階研修ホールにて『令和5年度 沖繩市ふれあいのまちづくり事業 小地域ネットワーク「実践報告会」』が開催されました。

基調報告で沖縄市介護保険課地域支援担当より『高齢での日常生活における移動手段に関するアンケート調査』についての報告が行われました。実践報告では田中将太氏（琉球大学人文社会学部人間社会学科）より『先進地の要支援者等の移動・外出支援の取組み』について紹介が行われ、那覇市社会福祉協議会より那覇市での『移動支援についての取組み』の紹介が行われました。また、沖縄市内での移動支援の取組みとして○松本デイサービスセンターによる越来公民館での認知症カフェへの送迎○泡瀬第三自治会による高齢者の買い物支援・外出支援の紹介がありました。

泡瀬第三区域は高齢化率が高く、高齢に伴い免許返納をされた方も多くいます。自治会で高齢者の移動支援の取組みを行い、利用者からも感謝の言葉が多く寄せられています。

私（伊良部）も今回参加してみて、今回の『実践報告会』を機に私たちの地域でもやってみたいと思う気持ちが少しずつでも広まることを願っています。



大里自主防災組織

3月3日(日)10時～12時、大里公民館2階ホールにて救急救命訓練が行われました。訓練内容は「心肺蘇生法」「AEDの使い方」。沖縄市消防団による心肺蘇生法やAEDの使い方の説明を受け、実際に人形を用いて参加者が心肺蘇生を行いました。小学生から高齢の方まで幅広く参加されており、参加者には非常食、非常用トイレグッズが配られました。



泡瀬第二自治会自主防災組織

2月25日(日)10時～12時、泡瀬第二公民館にて、津波避難訓練が行われました。泡瀬第二自治会自主防災組織では2つの津波避難経路があり、古謝大橋を上るルートとメイクマンへの抜ける道へのルート二手に分かれて参加者は実際に歩いて避難経路の確認をしました。赤十字奉仕団の方々が炊き出しをおこなっていただき参加者には豚汁と防災食がふるまわれました。

東部北圏域
各自主防災組織
活動紹介



東桃原自主防災会

2月4日(日)10時～12時、東桃原公民館にて防災避難訓練が行われました。約30名の方が参加し避難経路確認、倉庫にある防災グッズの確認をし参加者には防災食がふるまわれました。



泡瀬第三自主防災会

2月11日(日)10時～12時、泡瀬第三公民館にて津波避難訓練が行われました。今回の津波避難訓練は各自、家から各避難場所まで逃げる訓練となっており、ご家族での参加や高齢者の方など年齢層も幅広く参加されました。公民館に到着すると、美里工業機械科より寄贈のあった「どこでもドア」を開けると防災グッズがもらえるとといった創意工夫に富んだアイデアの津波避難訓練でした。参加者全員に防災食がふるまわれました。

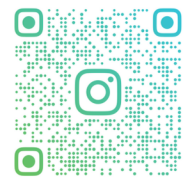


沖縄市地域包括支援センター-東部北 愛聖

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で
安心した生活が続けられるように支援します

☎ 098-937-1100

* お気軽にご相談ください



TOUBUKITAISEI